

公益社団法人日本地震工学会 第30回理事会議事録

A. 日時：2017年10月23日（月） 16時00分～19時00分

B. 場所：建築会館 301+302 会議室

C. 出席者：（会長）福和伸夫，（副会長）木全宏之，塩原 等，清野純史

（担当理事）田中宏司，佐藤吉之，長島一郎，岩本浩祐，末富岩雄，田村修次，
入江さやか，山口 亮，平田京子，高橋章浩，秋山充良，宮腰淳一，
中尾吉宏

（監事）當麻純一

（17WCEE 準備会）中埜良昭

（強震動評価のための深部地盤モデル化手法の検証に関する研究委員会） 東 貞成

欠席：（監事）飯場正紀

オブザーバ出席：小松康典事務局長，戸田事務局長

D. 議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|---|----------|
| 1) 第29回理事会議事録（案）確認（佐藤理事） | 資料 30-01 |
| 2) 会務報告（田中理事） | 資料 30-02 |
| 3) 会計報告（長島理事） | 資料 30-03 |
| 4) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 30-04 |
| 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告（山口理事） | 資料 30-05 |
| 6) 会誌編集委員会からの報告（平田理事） | 資料 30-06 |
| 7) 論文集編集委員会からの報告（末富理事） | 資料 30-07 |
| 8) 事業企画委員会からの報告（宮腰理事・中尾理事） | 資料 30-08 |
| 9) 事業企画委員会（JEES）からの報告（高橋理事） | 資料 30-09 |
| 10) 事業企画委員会（国際、地震災害対応）からの報告（田村理事） | 資料 30-10 |
| 11) ESG Workshop 2017 開催報告（清野副会長） | 資料 30-11 |
| 11) 「強震動評価のための表層地盤モデル化手法」講習会（11/1）
申込状況について（清野副会長） | 資料 30-12 |
| 13) メール審議結果（共催・後援について） | 資料 30-13 |

議案

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 第1号 入退会者（佐藤理事・長島理事） | 資料 30-14 |
| 第2号 委員会委員の委嘱（田中理事） | 資料 30-15 |
| 第3号 共催・後援・協賛等（佐藤理事） | 資料 30-16 |
| 第4号 日本地震工学会大会のプログラム案について（秋山理事） | 資料 30-17 |
| 第5号 会計処理細則案について（長島理事） | 資料 30-18 |

第6号 第6回 ESG 国際シンポジウム Local Organizing Committee の設置申請について
(東氏、田村理事) 資料 30-19

懇談事項

- 1) 熊本地震の問題の対応経緯について (田中理事) 資料 30-20
- 2) 地震学会会長懇談会 (佐藤理事) 資料 30-21
- 3) 出前講座の見直し案について (田中理事) 資料 30-22
- 4) 論文賞選考スケジュールについて (清野副会長) 資料 30-23
- 5) 17WCEE 準備会より進捗状況、規程案について (中埜準備会副委員長) 資料 30-24
- 6) 柴田先生からの地震波の無料公表依頼に対する対応結果について (木全副会長)

E. 議事録 :

報告事項

- 1) 第 29 回理事会議事録 (案) 確認
 - ・ 佐藤理事より資料 30-01 に基づいて第 29 回理事会議事録 (案) の説明が行われた。
 - ・ 議事録最終行に記す監事名を当麻監事に修正する (飯場監事は欠席)。以上の修正を行った上で、議事録が承認された。
- 2) 会務報告 (田中理事)
 - ・ 田中理事より資料 30-02 に基づいて会務報告の説明が行われた。9/4 の将来構想委員会は正式のものでは無いため削除する。これ以外については異議無く承認された。
 - ・ 各部会、委員会で、これら以外に行った活動があれば、総務理事まで連絡する。
- 3) 会計報告 (長島理事)
 - ・ 長島理事より資料 30-03 に基づいて平成 29 年度予算と実績 (平成 29 年 4 月 1 日～9 月 30 日) の説明が行われ、異議なく承認された。
 - ・ 今年度は約 200 万円の赤字を見込んでいるが、来年度は赤字を解消するための方策が必要。会計・総務理事で今後検討し、今後の正副長会議、理事会で方針を決定したい。
 - ・ また旅費の額も大きいため、理事会等においてはスカイプ等を用いた遠隔参加についても検討した方が良いという意見が出され、その可能性について山口理事が検討することにした。
- 4) 広報部会からの報告 (入江理事)
 - ・ 資料 29-04 に基づいて説明が行われた。地震工学会誌の記者クラブへの配布、日本地震工学会大会 2017 年のプレスリリースの計画について説明が行われ、異議無く承認された。
 - ・ また熊本地震の臨時観測点データに関する問題について、当学会への問い合わせがあった場合の Q&A についても作成を行ったことが報告された。
- 5) 情報コミュニケーション委員会からの報告 (山口理事)
 - ・ 山口理事より資料 30-05 に基づいて前回理事会以降の活動について説明が行われた。

6) 会誌編集委員会からの報告（平田理事）

- ・ 平田理事より資料 30-06 に基づいて会誌 No. 33 (2 月末発刊予定) の構成について説明が行われ、承認された。
- ・ 編集委員一名の辞退があり、補充が必要になっている。可能ならば設備機械系の委員が望ましい。
→インフラ系企業に多いと考えられ、今後関連する理事とも相談しながら適任者を探していく。
- ・ 会誌への執筆者について、依頼原稿については会員に限定しない旨を「日本地震工学会誌」投稿要領に追記する提案が出され、承認された。資料 30-06-2 では「7. 依頼原稿」の項を修正する案が示されているが、検討の結果、投稿要領の「2. 投稿資格」に「依頼原稿についてはこの限り（執筆を会員に限定すること）ではない」旨を追記することになった。
- ・ 9 月のメキシコの地震についての執筆者を探しており、適任者がいれば教えてほしい。
→10/23 に土木学会による同地震に関する報告会があり、その発表者を見て検討することにした。

7) 論文集編集委員会からの報告（末富理事）

- ・ 末富理事より資料 30-07 に基づき、2017 年 11 月号論文集における掲載論文数の報告、熊本地震の臨時観測点記録の問題への対応状況についての報告が行われた。
- ・ 熊本地震記録の問題に関連して、既発表の 3 論文についての対応を行っている。基本的に著者による修正原稿を受け取り、編集委員会で修正内容を確認している。
- ・ 修正の方法として、原稿の末尾に「（一部訂正：20XX 年 xx 月 xx 日）」を付し、web 上の pdf を差し替えることが提案され、承認された。また加えて以下の方針①、②を決定した。
 - ①web 上の差し替えについての掲示に際して、不明な点については事務局に問い合わせたいとの旨を記す。修正前の原稿については事務局に問い合わせれば入手できるようにする。
 - ②新旧原稿および修正点を示した資料を理事会で確認して、理事会においても承認した記録を残す。

8) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事）

- ・ 宮腰理事より資料 30-08 に基づいて 9/28 に実施した第 3 回メディア交流会についての報告が行われた。東京ガス本社ビルを訪問し、ガス供給に関する防災をテーマとして見学会、勉強会を行った。10 名の参加者があり、参加者から高い評価を得た。今後、広報に仕方についても考えていきたい。
- ・ 3 月に計画している南海トラフ地震に関するシンポジウムについての基本案の説明が行われ、了承された。このシンポジウムで地方と首都圏の連携の強化につなげたいと考えている。参加者として 250 名程度を想定しており、このようなシンポジウムの開催により当学会の収益にも貢献したい。

9) 事業企画委員会（JEES）からの報告

- ・ 高橋理事より資料 30-09 に基づいて JEES の準備状況についての説明が行われた。キャッチフレーズの決定、web サイトの確保、基調講演講師の決定、発表申込みの概要、会議事務の外部委託契約などを行っており、計画通り進んでいる。

10) 事業企画委員会（国際、地震災害対応）からの報告

- ・ 田村理事より資料 30-10 に基づいて説明が行われた。2017 年 9 月 19 日メキシコ中部の地震について、会員向けに情報提供依頼を行った。その結果、東京大 Y. A. Hernandez 先生から現地機関による調査報告の英訳資料の申し出があり、地震災害対応委員会でメール審議を得て、学会 web に掲載をした。

→ 当試料の著作権について田村理事から Hernandez 先生に確認する。

- ・ 第 4 回防災学術連携シンポジウム・日本学術会議公開シンポジウムにおける、広島大学三浦先生の発表は口頭発表ではなく、ポスターセッションとなったが、予定通り発表を行うこととなった。

11) ESG Workshop 2017 開催報告

- ・ 資料 30-11 に基づいて、清野副会長により 8 月 5 日に神戸で実施された標記ワークショップの実施報告が行われた。

12) 「強震動評価のための表層地盤モデル化手法」講習会について

- ・ 資料 30-12 に基づいて、清野副会長により 11 月 1 日に予定している標記講習会の申込み状況などについての説明が行われた。H26 年 4 月～H29 年 3 月に設置された「強震動評価のための表層地盤モデル化手法研究委員会」の活動報告を兼ねており、受講者には表層地盤のモデル化についての基礎から応用を理解してもらう内容としている。
- ・ 申込者が多く、現在 90 名を受け付けており、キャンセル待ちの方が 6 名いる。

13) メール審議の報告

- ・ 資料 30-13 に基づいて、田中理事から 2 件の共催、後援依頼について 8 月に実施したメール審議について報告が行われた。申請者に対する回答時期の関係から、今回理事会前に審議を行う必要があり、審議の結果 2 件とも承認された。
- ・ 審議においては全理事からの回答が必要であることについて再確認を行った。

議案

第 1 号 入退会者

- ・ 佐藤理事から資料 30-14 に基づいて入退会者の報告がなされた。正会員 3 名、学生会員 11 名、法人会員 2 社の入会が議決された。退会者は 0 名であった。

第 2 号 委員会委員の委嘱

- ・ 田中理事より資料 30-15 に基づいて委員会委員の委嘱の説明が行われ、異議なく議決された。

第 3 号 共催・後援・協賛等

- ・ 佐藤理事より資料 30-16 に基づき後援 1 件・協賛 1 件の名義使用依頼が報告され、異議なく議決された。

- ・資料 30-16-1 のうち 1 件目の「第 13 回 SEGJ 国際シンポジウム」の日時が間違っており、「2018 年 11 月 14 日～11 月 16 日」と修正する。

第 4 号 日本地震工学会大会のプログラム案について

- ・秋山理事により資料 30-17 に基づいて、大会の全体プログラム、収支計画についての説明が行われた、了承された。
- ・また熊本地震地震の臨時観測点記録の問題について、発表取り下げ 1 件、差し替え 5 件があったことが報告された。また著者からの申し出以外についても、当該記録に関わる発表がないかどうかについて、委員による確認を行ったことが報告された。以上の報告の後、本件について異議なく議決された。

第 5 号 会計処理細則案について

- ・長島理事より資料 30-18 に基づいて、会計処理に関する細則案、第 3 条に関わる勘定科目の説明のための別表、第 4 条に関わる公益事業と法人事業の按分割合に関する別表についてのが行われ、異議なく議決された。

第 6 号 第 6 回 ESG 国際シンポジウム Local Organizing Committee の設置申請について

- ・東貞成氏により資料 30-19 に基づいて説明が行われ、LOC の設置について議決された。
- ・当学会が主催となり、LOC は理事会の下に設置する。担当副会長は清野副会長とする。
- ・準備委員会は進捗状況について適宜理事会に報告する。
- ・準備委員会で必要となる予算は当学会の予算を用いる。準備委員会で今後その収支計画を作成する。

懇談事項

1) 熊本地震の問題の対応経緯について

- ・資料 30-20 に基づいて、熊本地震の臨時観測点の公開記録の問題に関して当学会のこれまでに実施した対応について田中理事から説明が行われた。

2) 地震学会会長懇談会について

- ・9/15 に行われた日本地震学会との会長懇談会（第 6 回）について、資料 30-21 の議事録に基づいて佐藤理事より概要の説明が行われた。

3) 出前講座の見直し案について

- ・資料 30-22 に基づいて田中理事より概要の説明が行われた。
- ・スペシャル・アドバイザー 7 名へのアンケートを実施し、5 名からの回答を得た。
- ・アンケート結果も参考にして、日当については 2～3 万円程度とすることにした（交通費は別）。また事務局経費として別途 5 千円位をいただいても良いという意見が出された。
- ・今後、SA の方々に講演テーマ、対応が可能な地域範囲を決めていただく。
- ・現在、当学会 WEB サイトに掲示している公開/出前講座に関する掲示を切り替え、受付を一時中止している旨の表示とする。

4) 論文賞選考スケジュールについて

- ・資料 30-24 に基づいて清野副会長から説明が行われ、了承された。過去 2 年分の論文集と特集号が対象となり、11/30 に応募締切、12 月からの 1～3 次審査を得て、2 月に最終投票（推薦論文決定）を行う計画となっている。

5) 17WCEE 準備会より進捗状況、規程案について

- ・資料 30-25 に基づいて、中埜準備会副委員長から説明が行われた。
- ・当学会の下に運営委員会を作り、その運営体制案、会議の計画概要、予算案、準備スケジュールについて説明が行われた。
- ・日本学術会議への共同主催申請書を当学会会長名で作成しており、11 末までに提出する予定である。
- ・17WCEE 運営規程案についての説明が行われた。理事会から提供した規定案について運営委員会で検討を行い、加筆・修正を行った。

6) 柴田先生からの地震波の無料公表依頼に対する対応結果について（木全副会長）

- ・本件について木全副会長から説明が行われた。柴田先生からエルセントロ、タフトなどの地震観測記録について無料公開できないかという旨の相談があった。
- ・地震動記録については過去の理事会で無料公開はできないという結論を得ており、その旨を柴田先生に回答して了解を得た。

次回予定：平成 29 年 12 月 8 日（金）15 時-18 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

平成 29 年 10 月 23 日

議長 福和 伸夫

監事 當麻 純一